2025年度版

ニイガタで ニイガタを 学ぶ 新潟地域志向科目

新潟の歴史や
文化、自然、産業や
暮らしについて
学ぼう

新潟県内大学の
学生の皆さんへ

新潟県内７大学の
新潟地域志向科目のご案内

新潟地域志向科目ってなんですか？

それは、新潟県内で学ぶ皆さんに、
新潟のことをもっと知ってほしい！
という科目のことです！

新潟県内には32の大学（高等教育機関）があり、それぞれの大学が特色のある学部、学科をもち独自の科目が開講されています。それらの科目のなかには、新潟の地域のことを深く知り、学ぶことができる科目があるのをご存じですか?

こうした科目は、皆さん自身が通っている大学だけでなく、他の大学でも開講されています。そして、これらの科目をとおして皆さんに学び取ってほしい、身に付けてもらいたいことは、どの大学でも共通です。

県内大学のうち7つの大学が連携して、これらの科目を「新潟地域志向科目」と位置付けてこのパンフレットを作成し、各大学の代表的な科目をご紹介しています。通っている大学は違っていても、これら「新潟地域志向科目」として登録されている科目を学ぶことで、共通の知識やスキルを身に付けることができます。ぜひ積極的に受講してください。

※掲載大学
（50音順）

長岡大学　新潟大学　新潟県立大学　新潟国際情報大学　新潟産業大学
新潟青陵大学　新潟青陵大学短期大学部

Q. 新潟地域志向科目とは?

新潟県及び県内市町村の歴史、文化、自然、産業、暮らしや、地域活性化、産業振興、地域に潜む課題解決など、地域に密着した内容を学ぶ科目です。地域の課題について考え、解決方法を学ぶ機会となり、将来、地域で活躍できる人材を育成します。

Q. 各校が開講している理由は?

ズバリ!皆さんに将来新潟で活躍する人材になってほしいからです。そのため、新潟について深く学ぶ機会や実際に地域課題に向き合う機会をつくっています。これらの授業を通して、地域の魅力をただ知るだけでなく、地域が抱える問題への意識や関心を高め、地域をリードする人材を育成します。

Q. 具体的にはどんな授業?

座学中心の授業のほか、実際にフィールドに飛び出して行う実習・演習や、グループワークを取り入れたものなど様々な形式で実施されています。自治体や企業の第一線で活躍している方を講師に迎え現場の生の声に触れたり、実際に現地に赴いたりして、自分の目で見て、耳で聞いて体感します。そうした授業により、新潟の地への理解を深め、愛着を育むとともに、地域社会の課題解決へのアプローチ方法や、地域貢献へのマインドを養います。

Q. 県外出身だし、卒業後も新潟で働くかまだ分からないけど・・・?

住む地域や働く地域、どんな仕事に就くかに関わらず、これからの社会では、自ら課題を発見し、他者と協調しながら課題を解決し、成果を広く発信していく力が求められます。学生時代は将来の皆さんの基盤をつくる大事な期間です。専門分野を磨くことはもちろんですが、専門分野以外の色々なことに触れて見聞を広め、活動の幅を広げることが将来の選択肢を増やすことにもつながります。地域や社会との関わり方を学ぶことは社会に出てからも役立ちます。

Q. 私の大学にはどの様な科目があるの?

パンフレットでは、7つの大学の代表的な新潟地域志向科目を1～2科目ずつご紹介しています。科目の詳細な内容やそのほかの新潟地域志向科目は各校のシラバス等でチェックしてみてください。(URLと2次元バーコードを付記しています)

長岡大学
NAGAOKA UNIVERSITY

地域を学び、地域課題解決のための専門的能力を向上させよう

長岡大学は「地域で役に立ち、頼りになる大学」を目指し、「地域の実態把握・現場・企業の体験および地域課題解決等を行う授業科目」として、多様な地域志向科目を設定しています。地域の人々や組織と連携した学びを深めて、地域課題の解決に寄与する専門的能力を身につけることを目的とした授業科目です。積極的な履修によって、その学びの成果をもとに、地域コミュニティの再生や地域活性化の核となる人材として活躍してもらいたいと願っています。

担当窓口
長岡大学　教務課
TEL：0258-39-1600
E-mail：kyoumu-g@nagaokauniv.ac.jp
長岡市御山町80-8

他の科目や詳細はシラバスにGO!
長岡大学授業計画(シラバス)
https://www.nagaokauniv.ac.jp/students/

地域志向教育により地域で活躍できる人材を育成します

Pick up! 代表的な科目をご紹介

単位数 2　対象 1年生

経済・経営の現場を知る1

県内産業および特徴的な県内企業を学ぶ

後期授業(「経済・経営の現場を知る1」)では、大学における地域に関する学びの基礎となる経済・経営概念を修得します。主に経済に関する題材として、国内・県内の産業における特徴的な企業を取り上げます。県内産業の特徴や成り立ちを理解するとともに、全国的にも有名な県内企業について学び、今後の地域研究のための基礎知識を蓄積することで、問題意識を培います。

単位数 2　対象 1年生

経済・経営の現場を知る2

流通業の学びを通じて新潟県・長岡市のまちづくりと企業の関わりを理解する

前期授業(「経済・経営の現場を知る2」)では流通業に焦点を当てます。流通業は私たちの生活と密接で極めて身近な存在です。新潟県・長岡市の流通企業は、地域の発展と深く関係しています。その現場の業務等についての学びを通じて、新潟県・長岡市の流通業発展のプロセスや現状と課題、今後の方向性について理解を深めるとともに、まちづくりと企業の関わりについて考察します。

新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

新潟大学の新潟地域志向科目はココが面白い！

新潟大学は10学部5大学院研究科から成り、専門性の学び、文理にわたる幅広い分野の学び、地域社会での課題解決学習を組み合わせ、課題と目標を持って学ぶことができます。日本酒学、新潟の農林業、トキをシンボルとした自然再生、新潟産業フィールドワーク等、新潟特有のテーマや、新潟をフィールドとして専門性を学ぶ科目も多く、新潟の特長や魅力を色々な角度から発見できます。社会・地域と連携した「学外学修プログラム」では、地元企業や自治体の職員と学生が協働して実践的課題に取り組むなど、現場の第一線で活躍する方の生の声、最新動向に触れることができます。

担当窓口
新潟大学　学務部教務課連携教育支援事務室
TEL：025-262-6309
E-mail：renkeikyoiku@adm.niigata-u.ac.jp
新潟市西区五十嵐2の町8050番地

他の科目や詳細はシラバスにGO!
新潟大学シラバス検索
https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/

総合大学ならではの様々な領域の科目があります！

Pick up! 代表的な科目をご紹介

単位数 1　対象 主に1・2年生

新潟の企業の魅力を探る

新潟県内企業の魅力や強みを知る

新潟県は創業100年を超える企業数が全国でも上位にあり、伝統の継承と時代に合わせた革新を繰り返しながら国内外で高い評価を得ている企業が多数あります。本科目は、新潟地域連携コミュニティ主催のインターンシップ体験事業※を活用し、夏と春の長期休業期間に約1週間にわたり県内複数企業への訪問や社員取材を交えて実施します。新潟県内企業の魅力・強みと、それを生み出す背景や風土を深く理解するとともに、自分自身のキャリア観について新たな気づきを得ることもねらいとしています。

※インターンシップの様子

A:単位数 2　B:単位数 1　対象 全学年

日本酒学A・B

世界初の学問「日本酒学」を学ぶ

「日本酒学」とは、広範な学問を網羅する「対象限定・領域横断型」で、日本文化や伝統に根差した日本酒に対象を絞った世界初の学問です。日本酒学Aの講義では、総合大学の強みを生かして人文社会科学・自然科学・医学・保健学の幅広い学問領域から日本酒にアプローチした講義を展開しています。日本酒学Bでは、科学的な利き酒の講義や酒蔵見学、さらには蔵元と日本酒に関するディスカッションなどをおこない、日本酒学Aで学んだ知識を実践的に深める実習型の講義をおこなっています。

新潟県立大学 University of NIIGATA PREFECTURE

「新潟学」を通して、新潟県がおかれている現状と課題を理解する

新潟をフィールドに、地域の歴史、伝統と生活文化、暮らしと政策など、新潟県の文化的・社会的な特徴、現状について理解するとともに、持続可能な地域社会の発展に向け、地域が抱える諸課題解決への糸口を探ります。

新潟学（R7年度開講）

①新潟県の文化と社会
②新潟県の子ども・子育て支援
③新潟県の地方自治
④新潟県の地産地消
⑤新潟県の政策と事業
⑥地域協働演習

担当窓口
新潟県立大学　地域連携推進センター
TEL：025-368-8225
E-mail：unpreco@unii.ac.jp
新潟市東区海老ケ瀬471

他の科目や詳細はシラバスにGO!
新潟県立大学オンラインシラバス
https://ginkgo.unii.ac.jp/campusweb/slbssrch.do

国際性 × 地域性 × 人間性「新潟が、学びのフィールド」

Pick up! 代表的な科目をご紹介

単位数 2　対象 全学年

新潟県の子ども・子育て支援

「子ども支援」「子育て支援」の現状と課題を知る

この授業の目的は、新潟県の「子ども支援」や「子育て支援」、すなわち「子ども・子育て支援」の実際を理解することです。新潟県で実践されている子ども・子育て支援のための福祉活動やボランティア活動の実際を紹介しながら、関連する施設や具体的な課題への理解を深めます。

「子育て」「子育てする人」の現状と課題を知る

また、社会全体で子育てを支えることの重要性や子育て中の親の心理を知り、受講者それぞれが身近なこととして「子育て」について考えていきます。同時に子どもおよび親の育ちを支える「子育て支援」についての理解を深め、地域において「子育てをする」「子育てを支える」ことへの意識を高めることを目指します。

新潟国際情報大学
Niigata University of International and Information Studies

地域から未来を創造する大学

本学は、国際学部国際文化学科と経営情報学部（経営学科・情報システム学科）の2学部3学科からなる大学ですが、大学としての基本コンセプトは「地域から未来を創造する大学」です。その地域とは言うまでもなく新潟です。本学の大学づくり、人づくりには常に新潟という地域が意識されてきました。両学部の学びの始点もそこにあります。その始点となる科目が「新潟地域学」です。新潟地域学は、「自然と開発」「文化」「政治と経済」の3科目から構成されます。この科目を履修することで新潟という地域を自然環境、文化、政治、経済などの面から広く深く理解できるようになります。なお、これらの科目は両学部の学生が履修できる全学基礎科目として設置されており、すべての科目の履修が可能です。

担当窓口

新潟国際情報大学　企画推進課
TEL：025-239-3111
E-mail：kikaku@nuis.ac.jp
新潟市西区みずき野3-1-1

他の科目や詳細はシラバスにGO!
カリキュラム・シラバス
https://www.nuis.ac.jp/gakubu_curriculum/

つなぐ　つなげる　つながる

Pick up! 代表的な科目をご紹介

単位数 各2　対象 全学年

新潟地域学「自然と開発」
新潟地域学　「文化」
新潟地域学「政治と経済」

新潟って、自然も人も妖怪も美術もものつくりも面白いものがいっぱいある

「新潟には何もねっけ」と学生も含めて新潟の人はよく言います。そう思ってしまうのは新潟の面白さについて学ぶ機会がこれまでになかったことが大きな原因なのではないでしょうか。「新潟には何もない」と思うことは新潟（の将来）にとっても極めて大きなマイナスです。例えば、地域活性化やまちづくりを考えるにしても、何もないと思っている人からは何も出てはきません。実際には、新潟には他地域にはない極めて個性的で魅力的な「もの」や「人」や「こと」が数多くあります。これらの科目の担当者はいずれもその分野での第一人者です。地域を知り、考えることは自身の生活だけに関わることではありません。その意味・意義は多方面に及びます。新潟地域学を通じて新たな新潟を発見しましょう。

新潟産業大学
Niigata Sangyo University

フィールドワーク重視のカリキュラム

新潟県柏崎市で創設時から70有余年もの間、『経済』を学ぶことを軸とした教育を実践すると共に、特に「地域実践教育」に力を注いできました。「地域」は、柏崎市は勿論ですが、新潟県、また広く日本も世界から見れば一つの地域と捉えることができます。現在、フィールドワークを重視したカリキュラムの中で、学内だけに留まらず、地域と協働し地域を見つめ、地域連携・まちづくりを目標に、学生たちは自らの五感を使って学んでいます。この経験が、卒業後の地域社会のフィールドで役立ちます。

担当窓口

新潟産業大学　地域連携センター事務室
TEL：0257-24-8441
E-mail：renkei@ada.nsu.ac.jp
柏崎市軽井川4730番地

他の科目や詳細はシラバスにGO!
新潟産業大学 Webサイト
https://www.nsu.ac.jp/academics/syllabus/

「地域に学び、地域をおこす」ための地域実践教育プログラム

Pick up! 代表的な科目をご紹介

単位数 8　対象 1・2年生

地域理解ゼミナール

フィールドワークを通じて「地域」を学ぶ

1・2年次の必修科目として「地域理解ゼミナール」を開講しています。1年次では①「地域経済政策」②「地域企業経営」③「地域観光・スポーツ」④「地域農業・6次産業」⑤「地域文化」⑥「コミュニティ・まちづくり」の6分野を、フィールドワークを通じて地域活動・地域連携について理解します。1年次から地域に積極的に飛び込み、学生が地域とともに成長することを目指します。

地域と協働し、社会に求められる地域のリーダーを育成する

2年次では、6分野から2分野に絞り考察します。春学期、秋学期に2年間の集大成として学年合同のプレゼンテーションを実施します。学内で学ぶ「理論」とフィールドワークによる「実学」を早い段階から連動させ、幅広い角度から地域を見つめ地元の地域おこしにも一役買っています。専門的な学びと具体的な地域連携・まちづくり活動を通じて、「地域に学び、地域をおこす」人材の育成を目指します。

NIIGATA SEIRYO UNIVERSITY
新潟青陵大学

専門性の異なる学生と協働し、多様な価値観・多職種連携を理解する

新潟の歴史を学び、看護学部・福祉心理子ども学部の専門性の異なる学生が協働し、地域連携・ボランティアに取り組むことで、学生相互の異なる視点からのアプローチを行い、就業後も多職種連携の必要性を理解します。多様な価値観を踏まえ、新潟の歴史、地域連携、ボランティアを通して、自ら主体的に動くことができる人材を育成することを目標にしています。

担当窓口
新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部　社会連携センター
TEL：025-368-7053
E-mail：ex@n-seiryo.ac.jp
新潟市中央区水道町１丁目5939番地

他の科目や詳細はシラバスにGO!
http://www.n-seiryo.ac.jp/about/open_info/syllabus/syllabus2019/

歴史を学び、今の新潟・地域をみる

Pick up! 代表的な科目をご紹介

単位数 2　対象 1年生

新潟学

「みなとまち」新潟の歴史

新潟市は北東アジアとつながる空と海の拠点であって、学術・文化・産業の情報発信基地としての可能性が期待されています。このような開放都市新潟は古代より「みなと」とともに発展したという経緯があります。「みなとまち」という視点からこれまでの新潟の歴史を振り返り、新潟への理解、課題探求能力の育成を図ります。授業では新潟の複数大学が連携して製作した著書「みなとまち新潟の社会史（著者:諫山正ほか／新潟日報事業社）」を使用します。

受講生の声

■「みなとまち」新潟を港町の生成から、港湾都市まで学ぶことができ、新潟のアイデンティティーを考える上で参考になった。また、新潟町が常に他国により統治され、自然災害とのたたかいの中から独自の町人文化が醸成された歴史過程をさらに追及していこうと思った。
■わかりやすく、毎回あっという間で、新潟市民としての自覚を持つことが、この学びで出来た。

NIIGATA SEIRYO UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE
新潟青陵大学短期大学部

「にいがた」という地域に学び、育まれた「心（マインド）」を持ち、自主的、積極的に行動する力を身につける

本学では、「地域課題を解決する取り組みから価値の創造ができる人材」の育成を目指し、「社会教育士」の養成課程を2023年度に設置いたしました。地域を拠点とした様々な科目を通じ、社会で求められる「ポータブルスキル」であるファシリテーション能力、プレゼンテーション能力、コーディネート能力を養うことで、持続可能な地域づくりを支える人材育成を目指しています。活動は新潟市の商店街や新潟駅南口にあるNINNOを舞台に展開しています。

担当窓口
新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部　社会連携センター
TEL：025-368-7053
E-mail：ex@n-seiryo.ac.jp
新潟市中央区水道町１丁目5939番地

他の科目や詳細はシラバスにGO!
http://www.n-seiryo.ac.jp/about/open_info/syllabus/syllabus2019/

「地域活性化」がキーワード！

Pick up! 代表的な科目をご紹介

単位数 1　対象 1年生

社会教育実習 I

体験型から経験型へ！

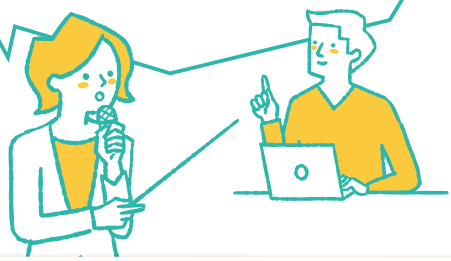
夏休み期間の集中講義として実施します。新潟駅南口のNINNOを舞台に、一般的な体験型インターンシップではなく、地域の企業が抱える課題や悩みを、学生が自ら聴き取りを行うことで掘り起こし、その解決案を提案・実行するという経験型の実習です。フィールドワークを通じ、産業界等から求められる「課題発見・解決力」「提案力」「コミュニケーション力」の向上を目指し、修得することを目標としています。

最終日には課題解決案をグループごとにプレゼン！

本講義は、グループでの活動ですが、受け身ではなく一人一人が主体的に取り組むことで、課題解決への気づきや、様々な視点からのアイディアが生まれます。フィールドワーク実習の結果は、毎日グループで話し合い、報告会を通してレポートにまとめ、最終日には地域の方や自治体に向け、グループごとに活動の成果を発表します。

地域活動の成果発表の場

地域活動・学生発表交流会



「地域活動・学生発表交流会」は、新潟県内の各大学の新潟地域志向科目での学外活動や、学生主体の「地域活動」、「社会貢献活動」に取り組んでいる学生が大学の枠を越えて一堂に集い、それぞれの活動内容や成果、課題をプレゼンやポスターセッションを通じて発表、発信するイベントです。交流会には、学生だけではなく、大学教職員や自治体、企業、地域住民なども多数参加し、参加者同士がお互いに学び、刺激し合い、交流を深めることを目的としています。
こうした交流によって新しい繋がりが生まれ、活動のさらなる進展が期待されます。
また、企画運営は学生有志と「新潟地域連携コミュニティ(*)」とで行っています。

運営に参加した学生からのコメント

地域活動の中で出会った方々との縁が広がることや、自分たちが関わった商品が認知されていくことに「やりがいと楽しさ」を感じます。
また、交流会で他大学の学生が取り組む地域活動について知ることができ、そこから刺激を受け、さらに地域に愛着を持つようになり自分たちの活動の励みになっています。

(新潟産業大学　経済学部)

私は生まれも育ちも新潟県外ですが、地域の方々とともに活動をするなかで新潟の魅力や課題について、自分自身の目や耳を通して学ぶことができました。
この経験は、単に魅力や課題を知っただけではなく、社会の中での自分自身の生き方について考え、行動するきっかけになっています。

(新潟大学　人文学部)

「成果発表」では、自分たちが学ぶ専門分野や興味関心・問題意識に沿ったさまざまな取り組みについて発表します。他チームの趣向を凝らしたプレゼンテーションも参考になります。

活動チームごとにプレゼンテーション資料を作成して発表します。

学生同士の交流や人脈をつくる場にもなっています!

「ポスターセッション」は活動に対してフィードバックがもらえる場。成果が認められるのはやっぱり嬉しい。自分への振り返りの機会にもなっている。

大学関係者、学生、自治体や地域の方々など、色々な立場の方が多数参加しています。

「地域活動・学生発表交流会」の運営を行っている新潟地域連携コミュニティでは、県内の各自治体と大学との連携を促進する活動を行っています。この活動によって、学生の学外活動・地域活動を展開するエリアや活動テーマが広がり、学生の皆さんと地域との関わり方がもっとバラエティに富んだものになることを期待しています。

*新潟地域連携コミュニティの説明は8ページを参照してください。

～学生の皆さんへのメッセージ～

自治体から

住民主体の地域づくりの推進

新潟県知事政策局
地域政策課長
樋山　光英 氏

新潟県の多くの地域、特に過疎地域等の条件不利地域と言われる地域では、人口減少、少子・高齢化が顕著となっており、生活に必要なサービスの継続、地域社会の活力維持が大きな課題となっています。

そのような中、地域住民が自ら地域づくりを行う団体を組織し、コミュニティバスの運行や高齢者の見守り、除排雪支援等、地域課題の解決に取り組む動きが出てきています。

こうした地域では、地域おこし協力隊や大学生等の外部人材の受け入れに積極的な地域も多く、大学のゼミやサークル等が住民と協働し、交流イベントの実施や農産物のインターネット販売など様々な地域づくり活動に取り組んでいる例が増えてきています。

本科目を受講される皆さんには、実際に地域を訪れていただき、まずは、地域の現状に触れるとともに、何が課題なのか、また課題解決に向けて自分達に何ができるのかを考えていただきたいと思います。

大学生による地域活動の様子

産業界から

にいがたの盛り上げ一緒に

株式会社新潟日報社
執行役員総合プロデュース室長
大塚　清一郎 氏

新潟県の大学で学ぶみなさんにもっと新潟のことを知ってもらい、未来の新潟をよりよい地域にしたいとの思いを共有してほしい――。

そのための第一歩が各大学で開設されている新潟地域志向科目の受講ではないでしょうか。足元の新潟の歴史、文化、風土、政治や経済などを知り、それらを踏まえ、自身の将来、地域の未来を考えることは卒業後社会人となるみなさんにきっと役立つはずです。

新潟日報社では、若者と新潟をつなぐ「にいがた鮭プロジェクト」を産官学の連携で展開しています。鮭が生まれた川を下り、大海を巡って再び故郷の川に戻ることになぞらえ、若者に就職の候補地として新潟への関心を持ってもらうよう、新潟の情報をホームページやSNSで発信したり、企業の人たちとの交流会を開いたりとさまざまな企画を行っています。

新潟地域志向科目を受講するとともに、ぜひ「鮭プロ」のHPやSNSを見て、イベントに参加してください。鮭プロのスローガンは「にいがたは、いつでもキミのミカタ」です。にいがたを一緒に盛り上げていきましょう。

県内大学生が企画した「鮭プロフェス」。
新潟市の万代シテイパークで開かれた

新潟市のメディアシップで開かれた「鮭プロにいがたカフェ」。
大学生と県内企業若手社員が交流した

ニイガタで学ぶ ニイガタを学ぶ 新潟地域志向科目
～新潟県内7大学の新潟地域志向科目のご案内～

発行：2025年４月　編集・発行：新潟地域連携コミュニティ
（事務局：一般財団法人 Ambitious NIIGATA内）
〒950-8535 新潟市中央区万代3丁目1番1号

新潟地域連携コミュニティ
新潟県における若者雇用・定着、地域人材の育成に取り組む産金官学が意見や情報の交換、情報共有、自主的な協働を促進するためのコミュニティ（場）を提供し、各機関同士の連携を推進します。2020年10月設立。